



# 令和元年度 事業のあらまし

一般社団法人首都圏産業活性化協会  
TAMA協会 Technology Advanced Metropolitan Area



## 令和元年度「事業のあらまし」発刊にあたり

新型コロナウイルス（COVID-19）が世界中で猛威を振るい、ここ数十年では類を見ない全世界の危機となっており、経済活動においても深刻な影響を及ぼしております。このような時だからこそ当協会は、関係機関と連携して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている企業のみなさまを全力でご支援いたします。

さて当協会は、産業クラスター形成の推進組織として1998年（平成10年）に協議会設立以来、おかげさまで22年の歴史を刻んでおります。これもひとえに、支えて下さった多くの皆様のご支援とご尽力により成し得たものであり、深く感謝申し上げます。

令和元年度は、事務局長、新事業開発ディレクターを新たに迎え、当協会第五期3カ年計画の2年目として「コネクテッド・インダストリーズ」をビジョンに掲げ、4つのサポート「イノベーション創出」「付加価値向上」「ものづくり現場の寄り添い支援」「人材確保・人材育成」を軸に活動するとともに、新たな取り組みとして、

1. 技術経営大学シリーズの開講（合同新入社員研修、データ活用講座、生産管理講座）
2. 個別課題解決の支援（CEマーキング取得支援等）
3. 連携協定等外部連携の強化
  - ・ 独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）が運営するものづくりマッチングサイト「ジェグテック」内への協会専用ページの新設（連携協定：令和元年6月14日締結）
  - ・ 地方独立行政法人神奈川県立産業技術研究センター（KISTEC）との共催による技術連携交流会の開催（連携協定：令和元年8月7日締結）
  - ・ 一般社団法人東京都中小企業診断士協会三多摩支部、羽村市、相模原市との連携による「経営デザインシートを活用した企業の知的財産活動強化
  - ・ 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）と関東経済産業局の共催イベント「オープンイノベーションチャレンジピッチ」「産から学へのプレゼンテーション」の運営受託

を行ない、オンラインとリアルの両面から、ビジネス機会創出に向けた取り組みを行ないました。

経済活動の停滞により、イノベーション活動にも影響が及んでおりますが、当協会では「楽しく、明るく、プロフェッショナルに」をモットーに、「地域企業を最もよく知る」×「地域自治体を最もよく知る」×「地域大学を最もよく知る」を“OUR CORE”と定め、地域に根差した産学官連携のプロフェッショナル集団としての自覚を忘れず、ビジネス機会創造に力を注いで参ります。

令和2年吉日

一般社団法人首都圏産業活性化協会  
会長 野長瀬 裕二

# 目次

- 1 ■ 第五期3カ年計画の概要（事業の体系）
- 5 ■ イノベーション創出支援
  - 地域イノベーション戦略推進事業（首都圏西部スマートQOL技術開発地域）
  - 産学連携・産産連携支援コーディネート
  - ダイバーシティ（女性研究者シーズ展示）
- 13 ■ 付加価値向上支援
  - 地域中核ローカルイノベーション支援事業（IoT技術の実証、機能向上、普及支援）
  - 知的財産活動支援事業（経営デザインシート）
  - 企業視察ツアー
  - 異業種交流会 はむらイブニングサロン（羽村市委託事業）
- 18 ■ ものづくり現場の寄り添い支援
  - 研究開発支援事業（競争的資金獲得支援）
  - 展示会マッチング促進支援（マッチング相談、ペーパーマッチング）
  - 個別支援事例（CEマーケティング取得支援）
- 20 ■ 人材確保・育成支援
  - 技術経営大学
  - シニア人材と中小企業の個別マッチング
  - 他機関との連携（しごとセンター、NW多摩）
- 24 ■ 他機関との連携
  - コニカミノルタ株式会社
  - 独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部
  - 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
- 25 ■ 情報ネットワーク
  - 会報「つなぐWa」
  - ホームページによる情報提供
  - 情報別メーリングリストの運用による効果的な情報提供
- 26 ■ 交流会の開催
  - つなぐWaSession
  - 新都心イブニングサロン
  - 南西フォーラム（首都圏南西地域産業活性化フォーラム）
- 27 ■ TAMAコーディネータ
- 28 ■ 地域との交流
  - 自治体地域産業政策勉強会
  - 自治体との連携
  - 国内支援機関等との交流
- 30 ■ データでみるTAMAの推移と現状
- 32 ■ 年表
- 33 ■ 沿革

# 第五期3カ年計画の概要（事業の体系）

第五期中期計画では、時代の急速な変動と共に当協会を取り巻く事業環境が大きく変化するなか、これまでの5カ年計画から3ヶ年計画とし、以下のとおり「ビジョン」「ミッション」「数値目標」を掲げ、「アクションプラン」に関しては毎年見直すこととし、協会関係者が共有し、実践に努めていきます。

これまでに培ってきた産学官金のネットワーク、そしてビジョンとミッションを基に、より多くの人びとを巻き込むインフルエンサーとして、また、様々な人や情報をつなぎあわせるゲートキーパーとして、協会の会員や地域の皆様に新たな感動を生み出し成長を支援していきます。

このようなつながりや支援によって、ビジネス機会と人財が集まり、結果として成果の伴った連携、企業売上高の増加に貢献し、さらにはこの貢献によって協会の会員を増やし、将来にわたって安定して会員や地域の期待に応えていきます。

## I 第五期3カ年 ビジョン／ミッション／数値目標

### 【第五期 ビジョン】

#### ■コネクテッド・インダストリーズ

産学官金でひと・もの・ことをつなぐを推進し、ビジネス機会と人財が集まる場を形成する。

### 【ミッション】

■産学官金が協働して、超スマート社会（Society5.0）が生み出す新たなビジネスに参入して飛躍する企業が絶えず生まれる地域とする。

■ものづくり現場に寄り添い、AI、IoT、ビッグデータなどを駆使して製品をつくり出し、人とのつながりによる多くの知恵で、ビジネス機会に結びつける。

### 【数値目標】

#### ①連携数

■2018年度～2020年度の3年間で次の件数を達成する。

技術連携・受発注連携に至った件数……100件

#### ②売上高

■2018年度～2020年度の3年間で

2017年度対比20%増加を目指す。

#### ③会員数

■2018年度～2020年度の3年間で

2018年3月対比、60会員増やす。

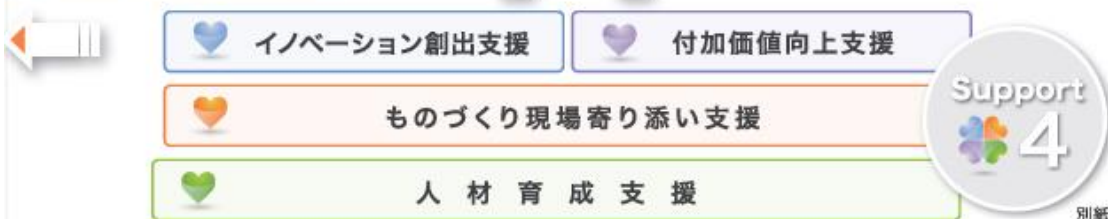
## Vision ビジョン



## Mission ミッション



## Policy 実施施策



掲げた「ビジョン」「ミッション」を実現するために、4つの施策（Support4）を「アクションプラン」として実施する。  
また、この4つの施策を実施することで、3年後の「数値目標」の達成を目指す。



# コネクテッド・インダストリーズ

産学官金で、ひと・もの・ことのつながりを推進し  
ビジネス機会と人財が集まる場を形成する

## イノベーション創出支援



### 産学連携・産産連携支援コーディネート

大学と企業、大手企業と中小企業の連携コーディネート、個別のマッチング、課題・ニーズ提案によるマッチングなど、技術PRレポートを基に実施。

**技術探索** 技術連携を希望する企業の探索・紹介。

**研究会** 大学教員を中心とした研究会、医工連携に関する研究会などを開催。

ヘルスケア・イノベーションワークショップ

(埼玉大学先端産業国際ラボラトリー／文科省地域イノベーション戦略支援プログラム  
綿貫WG研究会)

スマートエーイー研究会 (次世代超音波応用システムの開発)

(電気通信大学連携・会員制)

医療イノベーションフォーラム 分科会 (会員制)

## 付加価値向上支援



**IoT導入支援** IoT導入のためのワークショップ、データ活用セミナーを開催。

各社課題に寄り添ったIoT導入のためのハンズオン支援を実施。

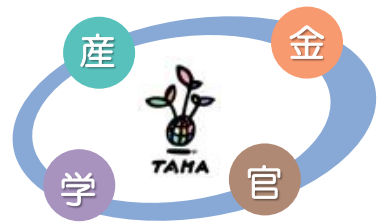
**知的財産活動支援** 知財権利だけでなく、ノウハウ・ブランド・ネットワークなど無形の資産も含めた知的財産を活用するため、経営デザインシートを活用する支援を実施。

**技術プレゼンによる異業種交流**

様々な技術やビジネステーマにしたプレゼンと異業種交流会を開催

Sup





## ものづくり現場の寄り添い支援



**課題解決支援** 会員企業の個別課題について、解決提案。

**補助金等獲得支援** 国・都県・自治体の研究開発・設備投資補助金等の獲得に向けて計画書・申請書のブラッシュアップを実施。

**プロジェクト事業管理** 研究開発プロジェクト等の事業管理を実施。

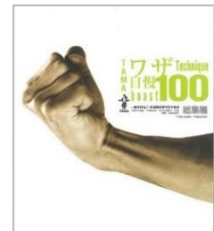
**ワザ自慢** 製品・技術PRレポート作成・情報発信



連携

大学技術工房

大学が保有する技術・研究開発状況を紹介



連携

「ワザ自慢100」製品・技術PRレポート

技術的に優れている企業の技を紹介  
これまでに1,700社の技術をレポート

## 人材育成



### 技術経営大学

技術・経営・生産管理などの講座や階層別社員研修などをコンテンツとしたものづくり人材の育成プログラムを開催。

**人材確保事業** シニア人材と中小企業の個別マッチングを実施。

## ネットワーク強化

- ・地域自治体産業政策勉強会
- ・地域産業振興支援事業（各地域の課題解決に向けての事業受託）
- ・広報事業
- ・会員増強

# イノベーション創出支援

## I 地域イノベーション戦略推進事業

文部科学省、経済産業省、農林水産省及び総務省は、平成23年度から、地域イノベーションの創出に向けた主体的かつ優れた構想を持つ地域に対し、関係省庁の施策を有機的に組み合わせて総合的・集中的に支援するため「地域イノベーション戦略推進地域」として共同で選定しました。

この取り組みは、「産学官金の参画機関が連携して、地域の強みや特性を活かした取り組みを通じて、持続的・発展的にイノベーションを創出する仕組みの構築を図ることで、地域イノベーションシステムの構築や活力ある地域づくり、ひいては我が国の科学技術の高度化・多様化や我が国の産業競争力強化につなげる」ことを目指しています。

### 1. 事業の概要

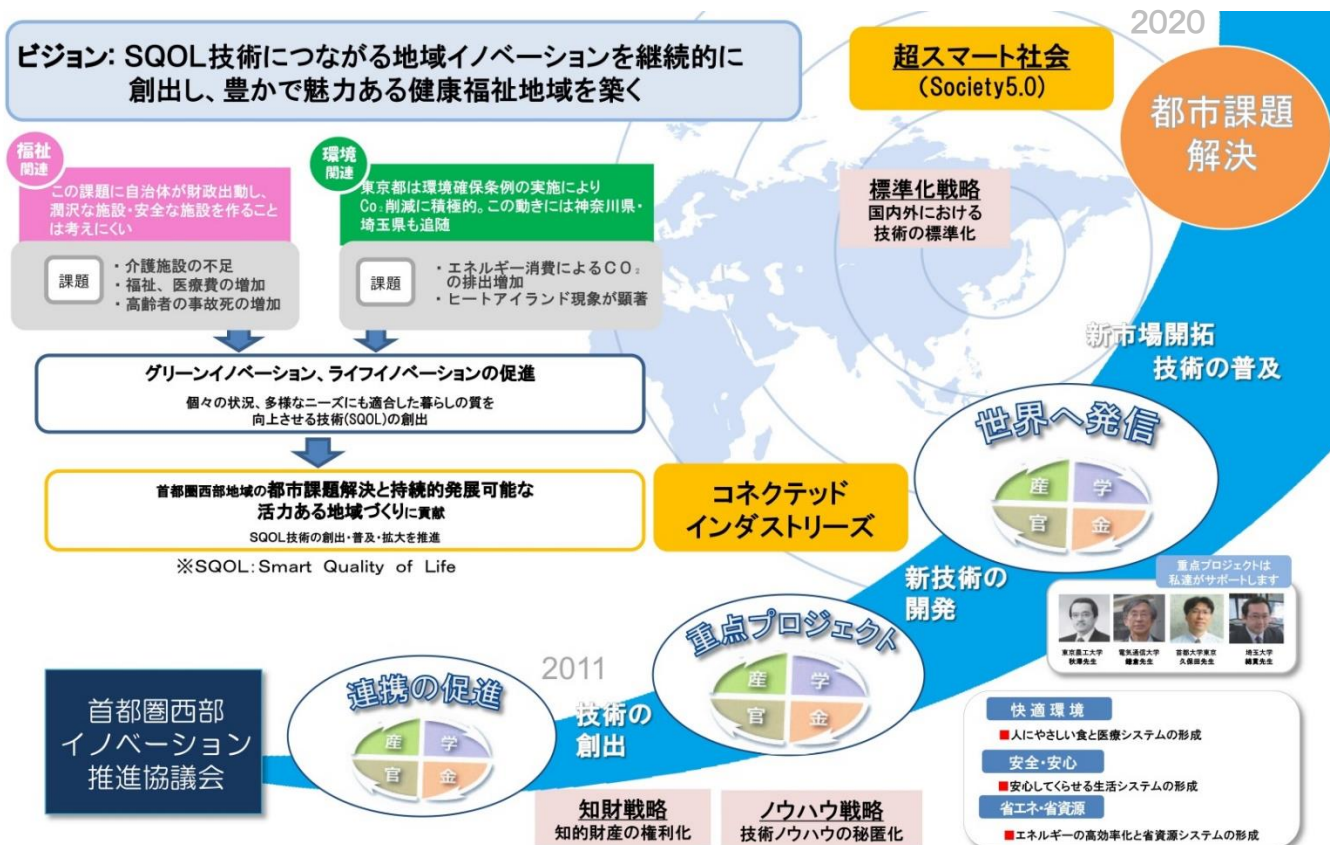
#### 地域イノベーション戦略推進地域(文部科学省・経済産業省・農林水産省・総務省)及び地域イノベーション戦略支援プログラムの推進(文部科学省)

首都圏西部地域においては、産学官金連携拠点形成事業の中核機関である首都大学東京・電気通信大学・東京農工大学・埼玉大学・青山学院大学・芝浦工業大学・東洋大学・東京都・埼玉県・さいたま市・相模原市・西武信用金庫・東京都立産業技術研究センター・当協会の14機関で、首都圏西部イノベーション推進協議会を組成して、首都圏西部地域イノベーション戦略を策定しました。

この戦略を実現するため、本地域は「首都圏西部SQOL (Smart Quality Of Life) 技術開発地域」として地域イノベーション戦略推進地域/研究機能・産業集積高度化地域に選定されました。

本地域では高齢化社会を踏まえた「SQOL 技術」を戦略技術分野とし、「各種SQOL 技術の創出とそれらを有機的にネットワーク化したサービスグリッド化」を図り、「首都圏特有の都市課題を解決し、持続的に発展可能な活力ある地域づくり」に貢献することを目標に取り組みしており、8年間の事業期間を経て、昨年度から2年間は自主事業期間として実施中です。

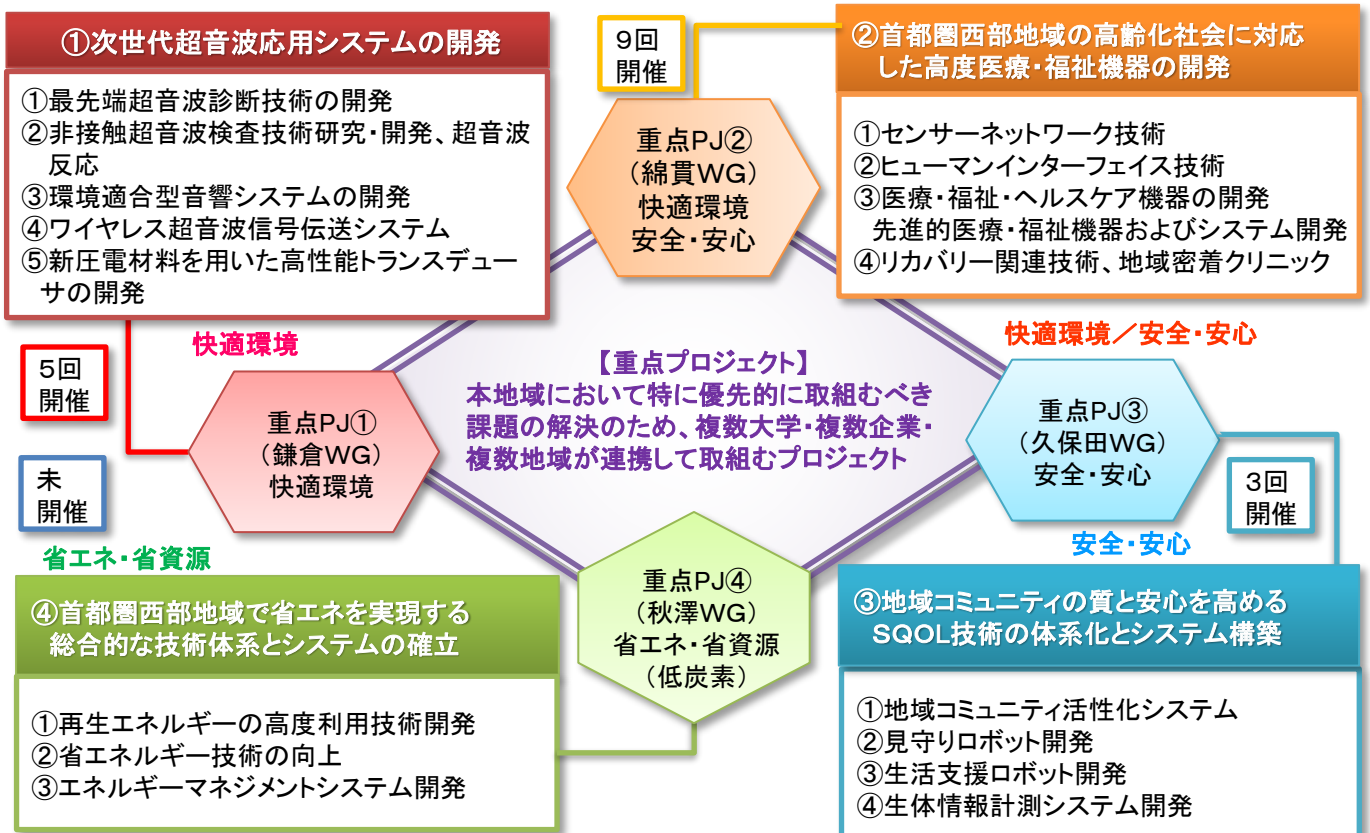
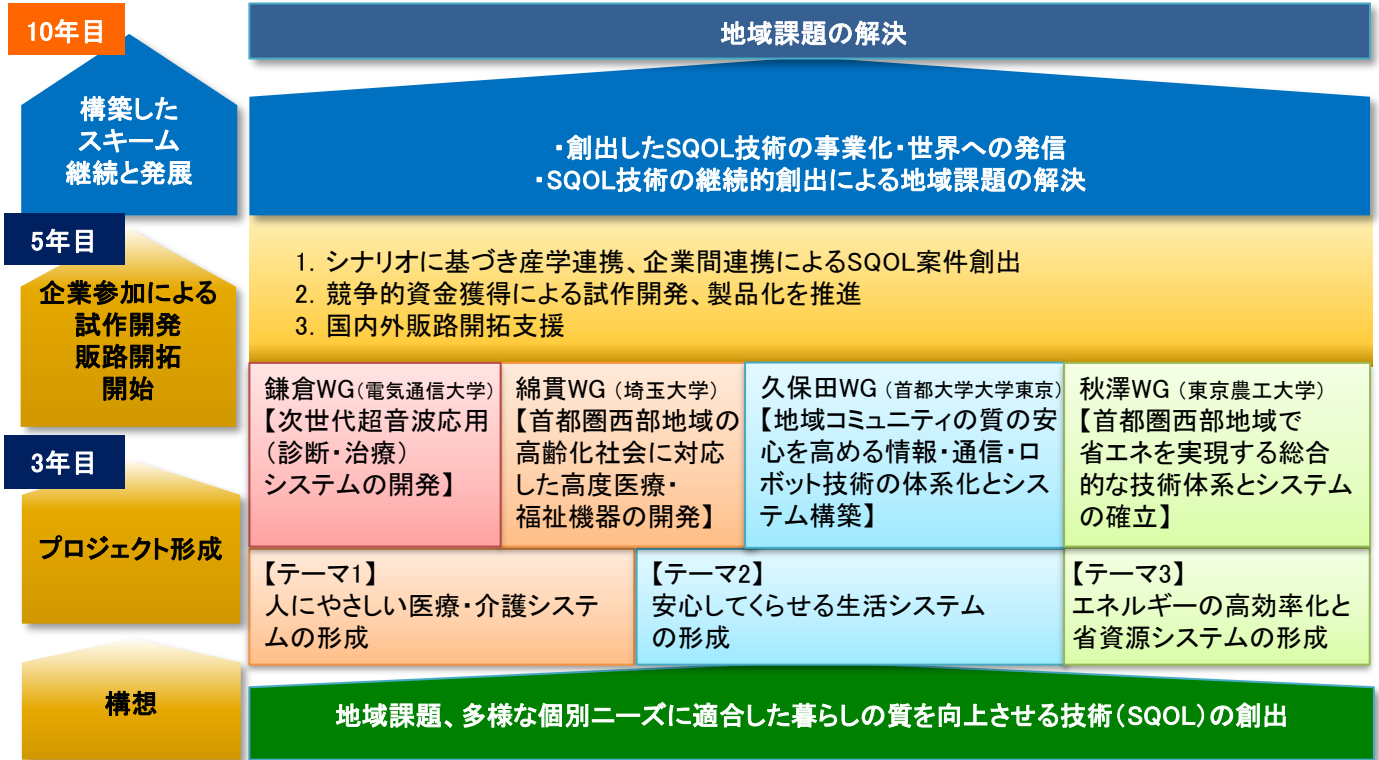
### 【首都圏西部地域 イノベーション事業推進】





## 2. 地域イノベ・重点プロジェクトWG(ワーキンググループ)の組成・実施

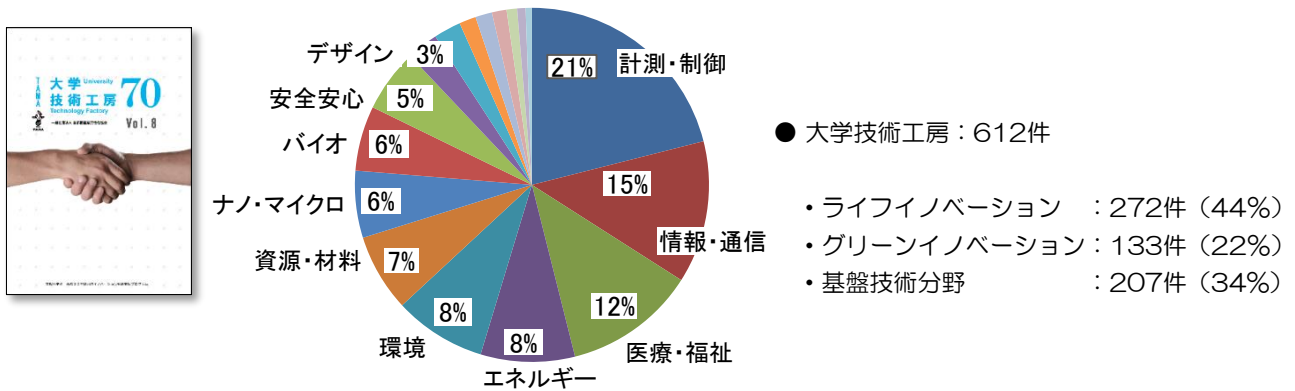
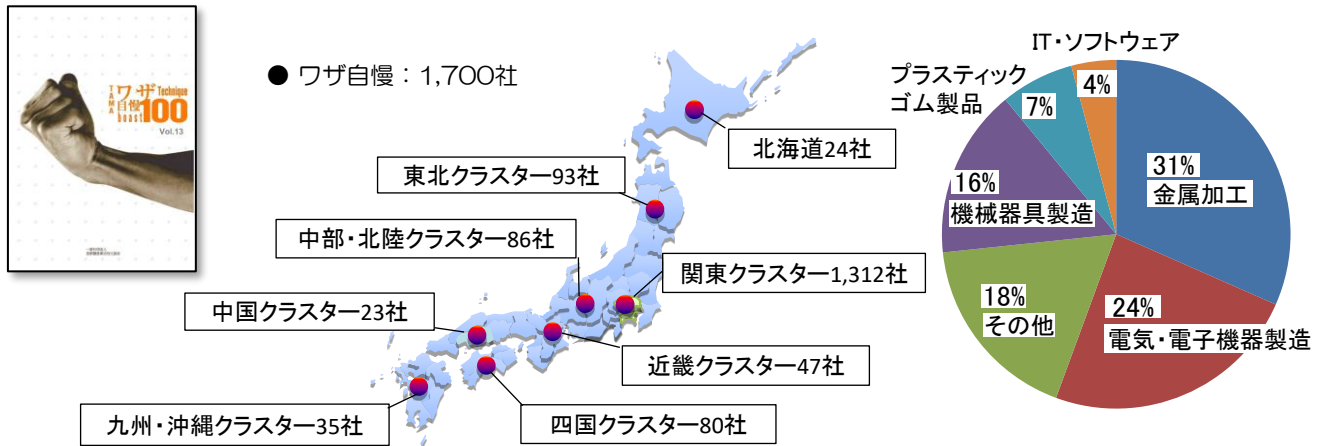
複数の企業・大学・地域が統一テーマで連携して取り組めるような研究開発プロジェクト(重点プロジェクト)の創出を目指し、そのシナリオ作りを進めるWGを立ち上げました。WGでは、地域課題の解決につながるよう、ライフイノベーション、グリーンイノベーション分野を軸に、産学官金の連携によってSQOL技術案件を創出していくための協力体制の構築を進めています。



### 3. TCS事業 / ワザ自慢、大学技術工房

#### (1) 「ワザ自慢」・「大学技術工房」

中小企業のコア技術をまとめた「ワザ自慢Vol.1～Vol.13」、大学研究者の技術をまとめた「大学技術工房Vol.1～Vol.8」を協会ホームページに掲載し、マッチングを推進しています。これらは随時新規追加やブラッシュアップを行い、産産連携・産学連携のマッチング活動の基盤となっています。



#### (2) 中小機構「J-Good Tech」との連携



会員企業をはじめとした「ワザ自慢」掲載企業がより多くのマッチング機会に触れるよう、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営するビジネスマッチングプラットフォーム「J-Good Tech」との連携をスタートしました。また、協会コーディネーターがジェグテックマイスターを取得し、円滑なマッチングを進められるようサポートしていきます。

#### 4. TCS事業 / 地域イノベ技術連携交流会、ソリューション提案交流会、リアルタイム交流会

##### (1) 活動目的と活動スキーム

大手企業・大学・中小企業間で事業拡大・新事業・新技術・新製品などの創出につながる連携の実現を目的として、以下の3交流会を開催しました。

技術連携交流会：大手企業・大学・中小企業を結び付ける交流会。大手企業・大学が中小企業のコア技術をまとめた「ワザ自慢」から関心のある中小企業を指名・面談する他、大手・中小企業が大学研究者の技術をまとめた「大学技術工房」から大学研究者を指名し面談します。

ソリューション提案交流会：大手企業・大学・中小企業が抱えている課題を事前に提示し、その課題を解決できる中小企業や大学と面談します。

リアルタイム交流会：タイムリーに企業ニーズに応えるマッチングを年間を通じて実施しています。



##### (2) 開催概要

##### 技術連携交流会・ソリューション提案交流会

大手企業や大学が指名した複数の中小企業、大手企業が指名した複数の研究者と面談し、互いに連携がスタートできる技術連携交流会、事前に大手企業から収集したニーズを解決できる中小企業や大学研究者を探索して面談の場を提供するソリューション提案交流会を同時に開催しました。また今年度から、スピーディーにニーズ・シーズに対応していくために、年間を通じて埼玉県・東京都・神奈川県で開催しました。

- 開催日：令和元年 9月19日（木）@新技術創出交流会（東京）  
令和元年11月 1日（金）@さいたま新都心（埼玉）  
令和元年11月22日（金）@KISTEC（神奈川）  
令和2年 2月 7日（金）@さいたま新都心（埼玉）
- 参加者数：60人
- 面談規模：大手企業：9社、大学/機関：5機関、中小企業：32社
- 面談数：大手企業/企業：24面談、大学・機関/企業：20面談  
(うち受発注3件、共同研究1件、再面談16件)



##### リアルタイム交流会

大手企業が探している技術をキャッチし、マッチする中小企業をリアルタイムで紹介するため、連携確度が高い交流会です。

面談件数 52面談（うち受発注1件、共同研究8件、再面談9件）



## 5. TCS事業 /地域版PRレポート 日野市版「企業の魅力PRレポート&大学技術工房」

### (1) 活動目的と実施内容

#### <目的>

「日野市工業振興基本構想」に基づく事業として、市内企業および大学研究室の特徴的な製品や技術力をレポートにまとめ、冊子やデータ等に整理することで、企業が自社の強みを再認識し、経営面での参考にするとともに、冊子やデータ等を活用し、市内中小企業および大学研究室と大手企業のマッチング、また、市内における産産連携および産学連携を促すことを目的とする。

#### <実施内容>

#### ①企業および研究室におけるPRレポートの作成

企業および研究室に関する事前調査およびヒアリング調査を行い、企業・研究室の概要や企業・研究室の優れた技術力等を紹介するPR事項、各種表彰等の受賞歴などに関する特記事項について記載したPRレポートを企業および研究室ごとに作成し、冊子としてまとめる。

#### ②中小企業および研究室に対するマッチング支援

作成したPRレポートを基に、中小企業および研究室に対して、マッチング交流会及び展示会への参加を促すとともに、大手企業や中小企業との事業連携や新たな受発注につながる支援を行う。

#### ③企業ニーズの情報提供による技術力向上、販路開拓・海外展開、人材確保等の促進

大手企業・他地域の中小企業の抱えるニーズを随時、PRレポート掲載企業・大学へ情報提供するとともに、中小企業の技術力向上、販路拡大及および人材確保につながる支援を行う。

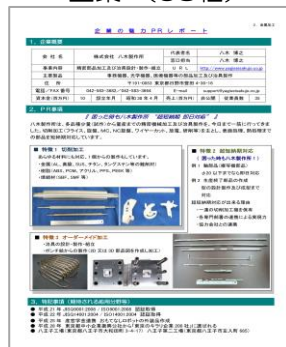
### (2) 成果概要

#### ①企業および研究室におけるPRレポートの作成

冊子化&HP掲載 (97件)

企業 (58社)

大学 (39研究者)



イノベーション創出支援

#### ② 中小企業および研究室に対するマッチング支援

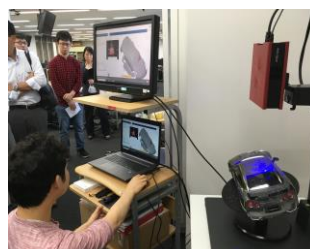
※ 各種展示会、産学交流会等を活用したPRとマッチング

イノベーション創出支援

モノづくり現場の寄り添い支援



東京都・新技術創出交流会



明星大学理工学部産学交流会



首都大学東京SDフォーラム

#### ③ 企業ニーズの情報提供による技術力向上、販路開拓・海外展開、人材確保等の促進

・経営デザインシート作成・知的財産支援、競争的資金獲得支援

イノベーション創出支援

・販路開拓・海外展開支援

付加価値向上支援

・技能人材確保支援

人材育成・確保支援

## 6. 医療イノベーションフォーラム分科会

### (1) 分科会の経緯

平成23年度から平成30年度の8年間に渡って、文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラムに採択された「首都圏西部スマートQOL(Quality of Life)技術開発地域」の事業の中で「医療イノベーションフォーラム」を開催し、産学連携、産産連携による多くの案件を創出してきました。

本事業の終了に伴い、令和元年度は医療イノベーションフォーラムを組成し、ケイ・アンド・ケイジャパン株式会社の代表取締役の久保田 博南氏を座長として限定メンバーで最新医療情報の収集と紹介、公的助成金事業への対応などに取り組んできました。

### (2) 分科会活動

ケイアンドケイジャパン株式会社 代表取締役 久保田博南氏を講師として、限定メンバーで「参加型実戦セミナー」を3回開催しました。

開催	出席	内容
7月25日 (金)	10人	①久保田座長の基調講演：テーマ「最近の医療機器から」 →かぶれない電極を使用したパッチ型の長時間心電図レコーダ、日本光電工業の人工呼吸器、眼圧測定のトリガーフィッシュシステムなどの紹介。 ②分科会としての競争的研究資金獲得に向けた議論 (e-スポーツ用椅子、身体障害者のQOL向上などのテーマを検討)
8月22日 (木)	8人	①久保田座長の基調講演： テーマ「医療機器のビジネス展開～タニタの事例から～」 →体脂肪計メーカー・タニタの販売戦略、体脂肪計の基本原則（インピーダンス法）、インスタント食品への展開など ②出席者の近況報告
12月23日 (月)	10人	①久保田座長の基調講演： テーマ「ヘルスケア機器のビジネス展開～オムロンの最新血圧計～」 →身に着ける端末・病気の兆候つかむ、測定機能（最高血圧、最低血圧、脈拍数）、構造、新規性は（腕時計タイプにしたこと、オシロメトリック法であるが、カフを二重にしていること、高価／8万円なこと、これまでの倍以上）。 ②株式会社ソーケンメディカルからの技術紹介 →ドイツ発「ゲームインテリジェンス・アプローチ」（サッカーにおける技術向上に関するトレーニング及び指導方法）



タニタ・インスタント食品



オムロン・血圧計



## 7. 産学連携PR

本活動の一環として、今年度は経営デザインシート、ダイバーシティ事業および地域イノベーション事業の成果を発表し、更なる推進、産学連携の促進を図ることを目的とし、各所で成果報告会を開催しました。

### ● 彩の国ビジネスアリーナ



開催日：2020年1月29日（水）～30日（木）  
会場：さいたまスーパーアリーナ

### ● 新技術創出交流会



開催日：2019年9月18日（水）～19日（木）  
会場：パレスホテル立川

### ● さがみロボット産業特区ロボット展 (テクニカルショウヨコハマ2020内)



開催日：2020年2月6日（水）～8日（金）  
会場：パシフィコ横浜展示ホール

### ● 第20回ビジネスフェア by SeibuShinkin Bank



開催日：2019年11月7日（木）  
会場：東京ドームシティ プリズムホール

### ● BIZ SAITAMA



開催日：2019年11月13日（水）～14日（木）  
会場：ソニックシティホール

### ● たま工業交流展



開催日：2020年2月20日（木）～21日（金）  
会場：東京都立多摩職業能力開発センター

## Ⅱ ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

女性研究者のライフイベントおよびワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や研究力向上のための取組及び上位職への積極登用にに向けた取組を支援するため、文部科学省・JSTの「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業」を行いました。

### 1. プロジェクト概要

「女性研究者の活躍推進を実現する” 関東プラットフォーム” の創生と全国展開」をテーマに事業を実施しました。

共同実施機関：東京農工大学、一般社団法人首都圏産業活性化協会  
東京外国語大学、国際農林水産業研究センター



### 2. 取組 連携体制・ダイバーシティ研究環境整備

女性研究者の研究成果をPRレポートにまとめた内容を、当協会 ホームページ、ならびに展示会等でのパネル展示、冊子の配布等の活動を通じてにて公開しました。

- 女性研究者の研究成果をPRレポートにまとめた内容を当協会のホームページにて公開した。
- 株式会社キャンパスクリエイト設立20周年記念シンポジウムにおいて、参加企業・大学・支援機関に向けて女性研究者の活躍推進の取り組み、また電気通信大学の女性研究者シーズについてのPRした。(2019年9月11日)
- 東京都中小企業振興公社が主催する「新技術創出交流会」にて、参加企業等に向けて本事業の取り組みを紹介。(2019年9月19日)
- 首都大学東京(現/東京都立大学)システムデザイン学部が主催する「システムデザインフォーラム2019」にて、参加企業等に向けて本事業の取り組みならびに同大学の女性研究者シーズのPRを実施。(2019年10月4日)
- 西武信用金庫が主催する「ビジネスフェア」にて、参加企業等に向けて本事業の取り組み紹介を行った。(2019年11月7日)
- さいたま市産業交流展 実行委員会事務局が主催する「BIZ SAITAMA」さいたま市産業交流展にて、参加企業等に向けて本事業の取り組み、埼玉大学・東洋大学女性研究者シーズについてのPRを行った。(2019年11月13日、11月14日)
- 「彩の国ビジネスアリーナ※1」にて、参加企業等に向けて本事業の取り組みを紹介した。(2020年1月29日・30日)
- 「テクニカルショーヨコハマ※2」にて、参加企業等に向けて本事業の取り組みを紹介した。(2020年2月5日・6日・7日)
- たま工業交流展実行委員会が主催する「たま工業交流展」(於/東京都立多摩職業能力開発センター)にて、参加企業等に向けて本事業の取り組みを紹介した。(2020年2月20日・21日)



写真/東京都中小企業振興公社主催「新技術創出交流会」内、産学連携ゾーンにおけるPRの様子

※1主催…埼玉県/公益財団法人埼玉県産業振興公社/公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会/  
株式会社埼玉りそな銀行/株式会社武蔵野銀行/埼玉縣信用金庫/飯能信用金庫/川口信用金庫/  
青木信用金庫

※2主催…公益財団法人神奈川産業振興センター/一般社団法人横浜市工業会連合会/神奈川県/横浜市

# 付加価値向上支援

## I 令和元年度地域中核企業ローカルイノベーション支援事業 (地域ネットワーク連携による中小製造業へのスマホIoT技術の実証、機能向上と普及)

地域経済の活性化のためには、地域を牽引する企業（＝地域中核企業）を数多く創出し、その成長のための支援を行うことが有効です。

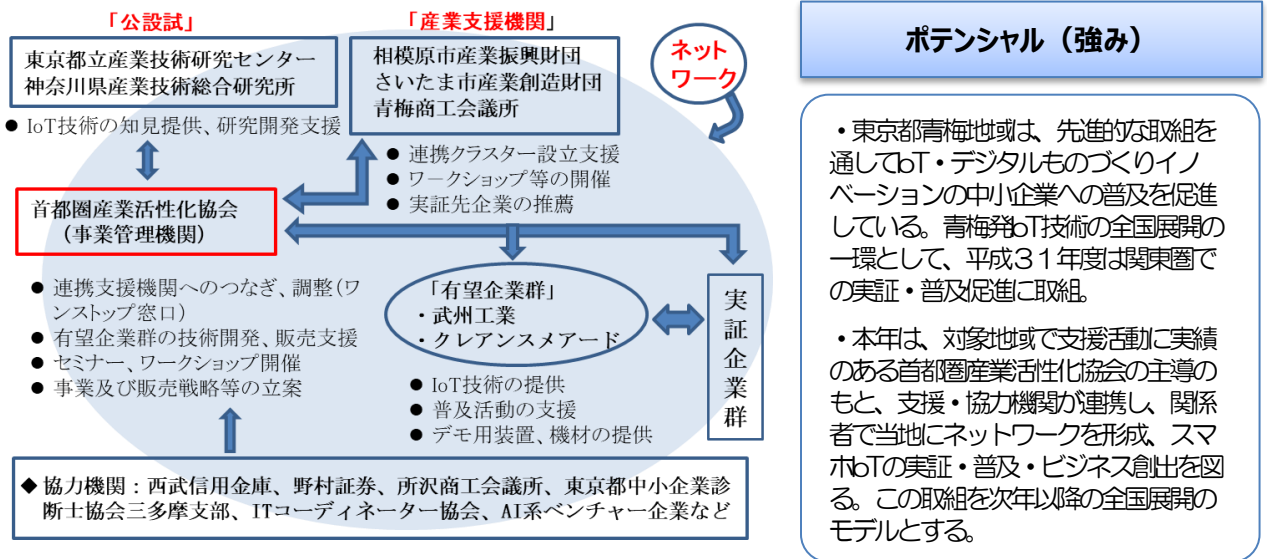
国では地域中核企業候補の成長のための体制整備や、地域中核企業の更なる成長を実現するための事業化戦略の立案/販路開拓等の取組を支援しています。

当協会は、地域中核企業の更なる成長のため、支援人材を活用して、事業化戦略の立案/販路開拓をハンズオンで支援するための事業（プロジェクトハンズオン支援事業）を経済産業省からの委託を受け実施しました。

### 1. プロジェクト概要

本事業では、東京都多摩地区、神奈川県、埼玉県を対象に有望企業群（武州工業×クリーンスメアード）が開発した完全配線レス設備動作情報収集アプリ「生産性見え太君」に代表されるスマホやタブレットをIoTの端末とする関係者が参加する「スマホでIoT」ネットワークを形成。地域企業での機械の生産性向上、人の働き方の改革を起こすイノベーションの場を創出し、新たなビジネス機会も提供する。

### 2. プロジェクト体制



### 取組内容

- (1) 実施機関及び協力機関等のネットワーク形成  
「スマホでIoTネットワーク会議」を3回開催
- (2) ワークショップセミナーの開催によるIoT人材の育成・有望企業群の発掘・地域
- (3) 有望企業群へのハンズオン支援12社の実施
- (4) スマホIoTの機能向上、多様化への取組  
テクノロジースタートアップ系等と連携したIoT高度化機能の導入検討3社実施



### 3. プロジェクトの実績

#### (1) 「スマホでIoTネットワーク会議」の開催

- 第1回 2019年8月26日（参加13名）  
講演 武州工業(株)、(株)KOSKA、中央電子(株)
- 第2回 2019年10月30日（参加13名）  
講演 (株)FAプロダクツ、(株)エイシング
- 第3回 2019年12月18日（参加20名）  
講演 つづく(株)、(株)大川印刷

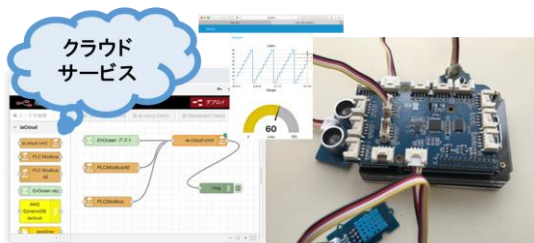


#### (2) ワークショップセミナーの開催によるIoT人材の育成・有望企業群の発掘・地域

IAF及び専門家と連携し、首都圏3箇所にてIoTワークショップセミナーを開催した。

- ・IoTワークショップ東京セミナー 2019年8月28日（参加22人）
- ・IoTワークショップ神奈川セミナー 2019年10月4日（参加11人）
- ・IoTワークショップ埼玉セミナー 2019年10月29日（参加8人）

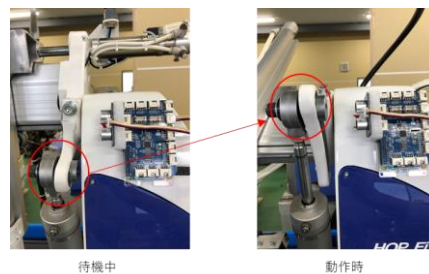
プログラムレスでIoT構築が可能なNode-Redツールを中心に、計41人の参加者各自が小型コンピュータを使ったワークショップでデジタル化の進め方について習得した。



#### (3) 有望企業群へのハンズオン支援の実施

ワークショップ参加企業を中心に希望する企業に対し、自社の現場で行うIoTハンズオントラアル支援を9月より順次開始し、以下の12社に対し専門家派遣を含めて実施。

トライアル実施企業	トライアルの内容
数泰工業（東京）	CTで稼働率計測
電元社トーア（神奈川）	積層表示灯の監視による稼働率計測
(株)プリケン（埼玉）	積層表示灯の監視による稼働率計測
UMエンジニアリング（神奈川）	ロボットアーム検出による異常通知
イチカワ（東京）	環境センサ（温湿度）による品質管理
アベックス（東京）	積層表示灯、ドット監視による稼働率計測
比企光学（埼玉）	積層表示灯監視による稼働状況可視化
武州工業（東京）	CTセンサによるCO2消費の可視化
クボブラ（東京）	CT、超音波によるマンマシンチャート化
NISSYO（東京）	超音波による作業状況の可視化
八洋（東京）	積層表示灯監視による稼働率の計測
(株)プレック（東京）	積層表示灯監視による稼働率の計測



#### (4) スマホIoTの機能向上、多様化への取組

望企業群に対し、IT系スタートアップ等と連携しながら、さらなる高度なデジタル化にチャレンジするトライアルの支援を3社実施した。

- 1) 武州工業×KOSKA : 重量センサを利用した生産性の数値化
- 2) ミズキ×つづく : 営業情報確度向上のためのクラウドサービルの活用
- 3) イチカワ×KOSKA : 画像情報を活用した工程情報のデジタル化

## II 知財活動支援事業(経営デザインシート)

事業者：一般社団法人首都圏産業活性化協会  
 連携機関：一般社団法人東京都中小企業診断士協会三多摩支部、  
 羽村市、相模原市

### 事業概要・目的

- ▶ 首都圏西部地域の地域未来牽引企業及び地域中核企業が先行して取り組み成功している「デザイン経営」の手法を「経営デザインシート」に表現し、これを参考にして、複数の企業を「デザイン経営」へ移行させるため自社における「経営デザインシート」を作成させる。
- ▶ 上記の「経営デザインシート」作成に地域の各自治体等が参画し、地域が一体となり「デザイン経営」を広めていくことで、地域支援機関の中小企業支援スキルの向上を図る。

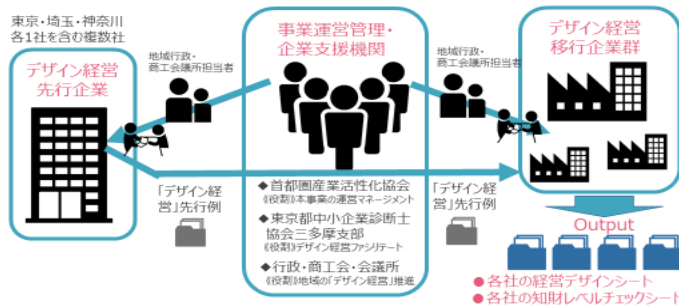
### 成 果

- ▶ 埼玉県1社、東京都4社、神奈川県1社の「経営デザイン」先行例をヒアリングし、「経営デザインシート」に表現した。
- ▶ これを参考に、7月～9月に自治体・Cd41人、企業43人を対象に経営デザインセミナーを開催し、埼玉県2社、東京都6社、神奈川県2社を対象に「経営デザインシート」と「知財レベルスキルチェックシート」を作成した。
- ▶ 作成にあたり、支援企業の立地自治体(狭山市、所沢市、八王子市、青梅市、羽村市、日野市、相模原市)が企業訪問に同行し、経営デザインシートによる企業支援のスキル向上を図り、地域と一体となり経営デザインシートを広める活動に取り組んだ。

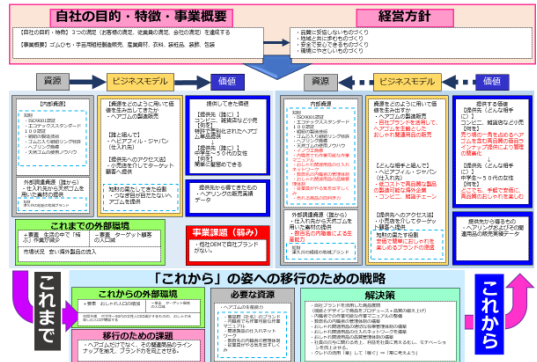
### 【事業イメージ (図)】

#### 当該地域での「デザイン経営」展開に向けた取組み体制

- 取組み①：「デザイン経営」先行例を、行政担当者とともに先行企業へヒアリング  
 取組み②：行政担当者とともに「デザイン経営」移行企業へ入り込み  
 「経営デザインシート」と「知財レベルチェックシート」を作成



#### 経営デザインシート(事業が1つの企業用)



経営デザインシートの作成例(見本)

#### <メディア掲載状況>

- ・2019年8月7日付 日刊工業新聞
- ・2019年8月13日付 日本経済新聞

#### ●経営デザインシート作成支援企業(計16社)

先行企業(6社)		
No	企業名	所在地
1	株式会社イノウエ	相模原市
2	株式会社塩	八王子市
3	株先会社カナミックネットワーク	港区
4	株式会社電子制御国際	羽村市
5	株式会社トコウ	飯能市
6	株式会社南デザイン	青梅市

移行企業(10社)		
No	企業名	所在地
1	株式会社池田製作所	青梅市
2	菊屋浦上商事株式会社	相模原市
3	久保井塗装株式会社	狭山市
4	コーダ電子株式会社	西東京市
5	株式会社先駆	八王子市
6	株式会社システム・プロダクツ	羽村市
7	株式会社MEMOテクノス	相模原市
8	株式会社レスカ	日野市
9	株式会社バンガードシステムズ	所沢市
10	株式会社新東京エンジニアリング	八王子市



### Ⅲ 企業視察ツアー

首都圏西部地域をはじめ、全国の地域・団体、また海外クラスター団体等との連携事業や各種委員への就任・視察や講演依頼をお受けしています。今後も、国内外における産業支援機関との交流を図り、地域を超えた産業支援ネットワーク形成を目指していきます。

#### (1) 京都大阪視察ツアー - モノからコトへ、変革する企業見学

開催日 2020年2月13日(木)～14日(金)

参加者数 17社18人

2020年2月13日(木)

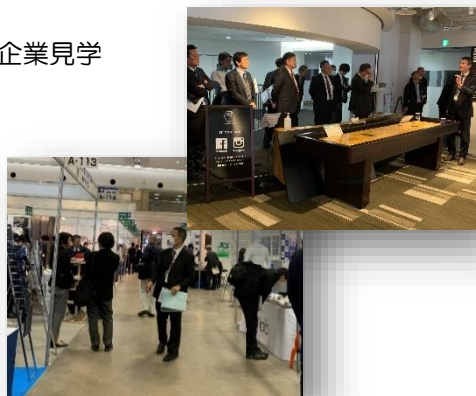
京都リサーチパーク 見学・意見交換会

京都ビジネス交流フェア 見学・マッチング

2020年2月14日(金)

HILLTOP株式会社 見学・意見交換

ダイキン工業株式会社テクノロジーイノベーションセンター 見学・意見交換



#### (2) 中国・武漢ミッション 湖北省国際技術マッチング

開催日 2019年11月5日(火)～8日(金)

参加者数 4社4人

湖北省科学技術庁主催による「2019イノベーション湖北」国際科技イノベーション創業コンクール、湖北国際技術マッチングイベントへ科学技術振興機構(JST)を通じて参加。中国企業をはじめ、カナダ・韓国・シンガポール島の企業とマッチングを実施。



#### Ⅳ 技術プレゼンを中心とした異業種交流会（羽村市連携構築・強化支援事業）

羽村市からの委託を受け、技術にプライドを持つ企業家・大学教員がプレゼンを行い、プレゼンを聴いた意欲的な企業家達とのマッチングを目指した異業種交流会「はむらイブニングサロン」を実施しました。

イブニングサロンは、埼玉県や首都圏北部（群馬県・栃木県・茨城県）や東北各県でも開催されており、今後地域を超えた連携交流が期待されます。

開催日	テーマ	プレゼン	参加企業数・人数
5月23日 (木)	都立産技研が進めるIoT事業及び事例	1) 東京都立産業技術研究センターIoT開発セクター 中川 善継氏、仲村 将司氏	18社 31人
6月20日 (木)	ものづくり現場のIoT導入事例	1) 株式会社イチカワ 和田 幸司氏 2) 株式会社ミズキ 小野寺 賢司氏 3) 株式会社ケー・ティー・システム 小原 亮一氏	22社 38人
7月18日 (木)	ものづくり企業のIoT製品開発	1) 新協電子株式会社 中西 英樹氏 2) 中央電子株式会社 中村 肇氏	21社 34人
9月13日 (金)	ものづくり中小企業が取り組む「経営デザインシート」の実践	1) 大和合金株式会社 後藤 邦明氏、小原 通彰氏 2) 三芳合金工業株式会社 鶴田 和郎氏	16社 30人
10月17日 (木)	羽村市商工会工業部会交流会×はむらイブニングサロン	1) カシオ計算機株式会社 伊部 菊雄氏 2) 市内企業展示・プレゼン	64社 122人
11月12日 (火)	ものづくり中小企業見学会	1) 株式会社NISSYO 久保 寛一氏	32社 43人
2月6日 (木)	今時の学生の就職活動を知る	1) 株式会社モザイクワーク、採用学研究所 杉浦 二郎氏 2) 国立東京工業高等専門学校 鈴木 雅人氏	25社 41人



# ものづくり現場の寄り添い支援

## I. 研究開発支援事業(競争的資金獲得支援)

会員企業の研究開発、技術及び生産の革新を支援し企業が目的とした技術の開発もしくは製品を商品化し、企業経営の安定化・成長を図り、それらの波及による地域振興を目的として、従前から様々な研究開発支援事業を展開しています。

さらに、TAMA-TLO<sup>(株)</sup>と協力して、企業のニーズを的確にヒアリングし、各テーマに関連した技術シーズを持つ大学研究者を選定し、産学連携での研究開発活動も推進しました。

### 1. 各種公的助成金事業での支援

国や自治体の公的助成事業（競争的研究資金）を多くの会員企業に有効活用していただくため、迅速な情報提供・周知→個別相談会→計画書／提案書作成支援→採択後の事業遂行の支援を行いました。

#### (1) 支援した助成事業

- ①東京都：革新的事業展開設備投資支援事業、第6回革新的事業展開設備投資支援事業
- ②東京都／東京都中小企業団体中央会、受注型中小製造業競争力強化支援事業
- ③経済産業省：戦略的基盤技術高度化支援事業、地域中核企業ローカルイノベーション支援事業
- ④全国中小企業団体中央会：平成30年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新補助金事業」
- ⑤おうめものづくり等支援事業補助金交付申請書
- ⑥東京都立産業技術研究センター：中小企業のIoT化支援事業・2019年度公募型共同研究

#### (2) 採択された助成事業 ※平成30年度申請、平成31年4月以降の採択発表含む

- ①東京都
  - ・革新的事業展開設備投資支援事業（1件）
  - ・第6回革新的事業展開設備投資支援事業（2件）
- ②東京都／東京都中小企業団体中央会
  - ・受注型中小企業競争力強化支援事業（1件）
- ③経済産業省
  - ・戦略的基盤技術高度化支援事業（2件）
  - ・地域中核企業ローカルイノベーション支援事業（1件）
- ④全国中小企業団体中央会
  - ・平成30年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新補助金事業」（7件）
- ⑤おうめものづくり等支援事業補助金交付申請書（1件）

(3) 事業管理機関として支援した事業（新規2件、継続1件）

令和元年度戦略的基盤技術高度化支援事業

テーマ名：圧倒的な高品質・低価格を実現するプレス複合深絞り技術を具現化した汎用プレス機用金型の開発

共同研究体構成員：中核企業…有限会社山内エンジニアリング（神奈川県相模原市）

国立大学法人電気通信大学、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

研究開発期間（予定）：令和元年度～令和3年度

テーマ名：脱着可能な小型基準電圧源を用いた校正（運用）コストを低減させる高精度電子計測器の研究開発

共同研究体構成員：中核企業…株式会社エーディーシー（埼玉県）

国立研究開発法人産業技術総合研究所

研究開発期間（予定）：令和元年度～令和3年度

### Ⅲ 展示会マッチング促進支援

株式会社リンカーズと連携し、ビッグサイトなどで開催された展示会で出展者と来場者等のマッチングを促進支援を実施しました。

展示会名	開催日／会場	実施内容
TECHNO - FRONTIER2019	4月17日（水）～19日（金） ／幕張メッセ	会場内マッチングブースにて、来場者の探索企業・業種を出展企業情報ニーズをヒアリングし、マッチング提案を実施。
INCHEM TOKYO 2019	11月20日（水）～22日（金） ／幕張メッセ	来場予定者のマッチングニーズと出展企業とのマッチング可能性を提案。 会場内マッチングブースにて、来場者の探索企業・業種を出展企業情報ニーズをヒアリングし、マッチング提案を実施。

### Ⅳ 個別支援事例

企業様が抱えるお困り事を解決するため、個社支援を実施しました。

(1) CEマーキング（RoHS指令、REACH規則）の取得支援



CEマーキングは、EUで販売（上市）される指定の製品がEUの基準に適合していることを表示するマークです。CEマーキングによってその製品が分野別のEU指令や規則に定められる必須要求事項（Essential Requirements）に適合したことを示します。

- ①当該製品に適用される指令・規則の確認
- ②必須要求事項の確認と適合性評価基準の選択
- ③第三者認証機関による適合性評価が必要かどうかの判断
- ④製品試験・適合性評価支援
- ⑤技術文書の作成支援
- ⑥適合宣言書の作成支援

など、2社のCEマーキング取得に係る支援を行いました。



# 人材確保・育成支援

## I 技術経営大学



### 1. 概要

技術を経営資源とする企業のテクノロジーとマネジメントに精通した人材育成を行っていくため、各種団体や大学等と連携して「ものづくり人材育成プログラム“技術経営大学”」を開講しました。会員ネットワークを生かし、技術・経営・生産管理などの講座や階層別社員研修などを実施いたしました。

### 2. 開催概要

#### (1) 生産管理講座

開催日時：（講座）令和元年12月13日 9:30～16:30

（工場視察）令和元年12月19日 13:00～17:00

会場：（講座）学園都市センター、（工場視察）武州工業株式会社

参加人数：（講座）29人（工場視察）24人

講師：（講座）野長瀬 裕二（当協会会長 摂南大学 経済学部 教授）

（工場視察）林 英夫氏（当協会参与 武州工業株式会社 代表取締役）



野長瀬会長による講座



林社長による工場視察前の  
企業方針などご説明



工場視察後のグループ  
ディスカッション

#### (2) 経営課題解決のためのデータ活用講座

開催日時：（八王子）令和元年11月19日 13:30～16:30

（相模原）令和元年12月11日 13:30～16:30

会場：（狭山）令和2年2月19日 13:30～16:30

参加人数：（3会場合計）17人

講師：一般社団法人 日本DATAビジネス協会 嶋田 圭吾 氏



「データを制したものがビジネスを制す」と言われており、データ分析とその利活用が企業価値を高める上で必要不可欠になってきています。

本講座ではデータ分析の必要性、具体例、分析と利活用の進め方等について解説し、社内データサイエンティストを育成のための講座を実施いたしました。



### (3)業務改善講座<中小企業大学校東京校 サテライトゼミ>

顧客ニーズの多様化に対応できる生産現場の構築は、企業経営上、最大の課題であると言えます。また構造的な人口減少と人手不足等の経営環境変化へ対応するためには、製造現場において常に改善を実行し生産性を向上していくことが求められます。

生産現場における5Sや3ム（ムリ・ムダ・ムラ）をはじめとした現場改善、Q（品質）C（コスト）D（納期）の具体的な進め方や手法について、講義やグループ討議あるいは製造現場/自職場での実践を通して学び、実践的な「生産性向上を実現する業務改善力」を身に着けるための講座を開催しました。

開催日：令和2年2月25日（火）、3月11日（水）・12日（木）

会場：1日目八王子市新産業開発・交流センター、2日目株式会社新栄スクリーン、  
3日目中小企業大学校東京校

講師：有限会社コンサルティングベルオフィス 鈴木 規男氏

参加者：2社4人

Winning  
Topic

## 日本が誇る小さな大企業「スモール・ジャイアンツ」



「大企業」の「大」は、売り上げ、利益、従業員数という規模の「大」。しかし、規模は小さくとも影響力や地域貢献の大きさが「大」の会社もあるはず。

ForbesJapanでは、そのような企業を「スモール・ジャイアンツ」と名付け、消費者の心を鷲掴みにしたアイデア、価値観、仕組み、技術。そんな価値ある企業を探して表彰するアワードを行っており、本年で3度目となりました。

「スモール・ジャイアンツアワード」は創業10年以上、売上高100億円未満の価値ある企業を多数のアドバイザリーボードの協力のもと、全国から企業が選出されました。

過去最大規模で実施した3度目の今回は、株式会社協同商事[埼玉県川越市]がグランプリに輝きました。（株式会社川口スチール工業と2社同時グランプリ）

同社は、有機栽培青果物栽培指導・加工・販売、物流、ビール製造、食品輸入、廃棄物リサイクル技術研究開発など、農業を出発点とする食のサイクルすべてに関与する“総合食品企業”です。地域の個性を活かし地元川越の農産物から生まれたオリジナリティの高い「COEDOビール」を開発。地域とのつながりを大切にし、地域の持つ個性を重要視するクラフトビールを丁寧にブランディングしています。

現在新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、様々な社会情勢の変化が続くなかでも朝霧社長は立ち止まることなく、これまであえて行なってきたという新しい販売チャネルの開拓に挑戦するとのこと。



#### (4) 新人研修「組織で生き活きと働くための合同新入社員研修」

単に教えるだけではなく、自分やチームで考えて答えを引き出すこと、目標設定（計画）⇒実践⇒振り返り⇒次への行動（PDCAサイクル）までを研修の中でも実践すること、ワークやディスカッションで視野を広げ、組織で活躍できる機微力(KIBI力)\*を身に付けること、次の日からの仕事に、今回の研修をつなげていくことを目的に、会員企業の新人（入社3年目まで）を対象にした合同新入社員研修を実施しました。

開催日：平成31年4月3日（水）・4日（木）・5日（金）  
会 場：八王子市学園都市センター  
参加者数：5社12人



#### カリキュラム

##### 研修の目標設定

- 【1】社会人の心得・プロフェッショナル人材への第一歩（企業・組織のルール）
- 【2】ビジネスマナー（挨拶・電話対応・名刺交換・SNS他コンプライアンスなど）

##### 【3】期待や要望をされる人材になるためのコミュニケーション

- ①自分を理解し、強みを活かし弱みをコントロールする  
（自分のタイプと強みを知る・自己プレゼンテーション）
- ②自社を理解する・求められる専門知識や技術を捉える  
（会社プレゼンテーション・専門知識と経験取得の目標設定）



##### 【4】組織で生き活きと働くための社会人KIBI力「5つの力」

- ①状況把握力…起こりうる状況を想像し先回りして動く力
- ②リアクション力…状況に応じた最善の言動を実行できる力
- ③気持ち察し力…相手の気持ちを汲み取り、言動や表情から心情を察する力
- ④なつき力…相手の懐に飛び込み、好かれる力
- ⑤柔軟性（柔軟な対応力）…状況に応じて、対応を使い分けたり変更できる柔軟性
- ⑥KIBIカテスト

##### 【5】今後の目標設定

期待と要望を受け止めて自分の持ち味を活かす目標設定

##### 研修の振り返り

#### ●フォローアップ研修

研修受講生間の交流を促進し、「地域の同期」の関係を強化するため、研修での学びと気付きを振り返り、日々の業務に活かすため、フォローアップ研修を行いました。



##### 第1回フォローアップ研修

開催日：令和元年12月6日（金）  
会 場：株式会社トライアーン

##### 第2回フォローアップ研修

開催日：令和2年2月18日（火）  
会 場：アリオス株式会社

## II シニア人材と中小企業の個別マッチング

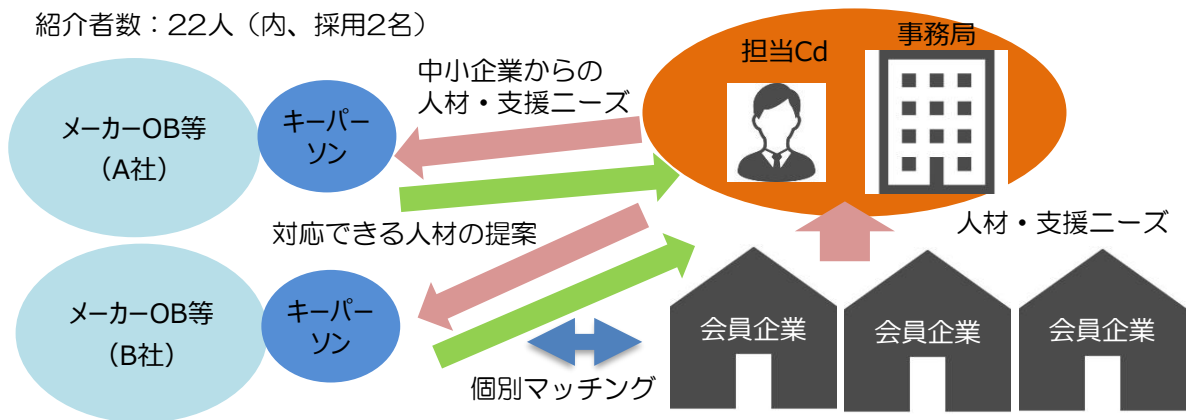
### 1. プロジェクト概要

メーカーが多く立地し、様々な技術・する首都圏西部地域の特性と、当協会の人材ネットワークを活用し、シニア人材と中小企業の個別マッチングを実施。

プロジェクトコーディネーターが企業課題をヒアリング・整理し、人材ネットワークから対応できる人材を探し、中小企業への紹介・マッチングを行いました。

支援企業数：5社

紹介者数：22人（内、採用2名）



## III 他機関との連携

### 1. 東京しごとセンター多摩との連携

東京しごとセンター多摩が主催する人材確保事業に後援し、会員企業の参画を促進しました。

開催日	イベント名	会場
4月10日（水）	新卒応援！多摩プロジェクト「第1回合同企業説明会in八王子」	京王プラザホテル八王子
5月9日（木）	新卒応援！多摩プロジェクト「第2回合同企業説明会in立川」	立川グランドホテル
6月24日（月）	新卒応援！多摩プロジェクト「第3回合同企業説明会in多摩」	京王プラザホテル多摩
9月4日（水）	新卒応援！多摩プロジェクト「第4回合同企業説明会in八王子」	京王プラザホテル八王子
1月29日（水）	新卒応援！多摩プロジェクト「第5回合同企業説明会in立川」	立川グランドホテル

### 2. ネットワーク多摩との連携

公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩（ネットワーク多摩）が主催する学生との交流事業等に後援し、会員企業の参画を促進しました。

開催日	イベント名	
12月14日（土）	まちづくりものづくりコンペティション2019	明星大学
11月9日（土）	学生×企業 ねっ多摩フェス	明星大学 大学会館

# 他機関との連携

連携協定締結機関と、下記の連携事業を実施しました。

## (1) コニカミノルタ株式会社（協定締結年月：平成31年2月）

### 【連携協定の狙い】

会員企業の生産性向上に向けた産業振興の加速、アプリケーションの共創やワークフロー変革を期待し、コニカミノルタ（株）が全社を挙げて取り組むIoTによる業務プロセス変革で培ったノウハウを活用した支援

### 【活動報告】

#### ◎技術連携交流会 @さいたま新都心への参加

開催日 令和元年11月1日（金）14:30～16:30

会場 新都心ビジネス交流プラザ

面談数 4社/4面談

#### ◎「SDGsオープンイノベーションプラットフォーム」

（大阪商工会議所主催、コニカミノルタ幹事）における協力

- ・アプリケーションの共創・・・

会員企業の現場における課題整理、同社ノウハウを活用した実証実験への協力

- ・環境ノウハウの提供・・・

同グループが保有する環境経営ノウハウや環境負荷低減施策の提供を受け、環境対応と企業の成長の両立に向けた活動を実施。



## (2) 独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部（協定締結年月：令和元年6月）

### 【連携協定の狙い】

ジェグテック活用などによる中小企業の販路拡大、その他中小企業に役立つ情報交換などの分野に係る連携

### 【活動報告】

#### ◎ジェグテック(J-GoodTech)での首都圏産業活性化協会特設サイト開設

開設日 令和元年7月18日 登録企業数 166社

バイヤー等からの法人情報閲覧数 6,316件

大手企業からの問い合わせ受信数 319件

受注など会員企業からの申込件数 123件

詳細商談件数 40件 ※令和2年1月26日時点

#### ◎ジェグテック(J-GoodTech)マイスター研修の実施・参加

実施日 令和元年8月5日、9月19日・20日、令和2年2月17日

#### ◎技術経営大学、中小企業大学校東京校 サテライト・ゼミとの事業共催

開催日 令和2年2月25日、3月11日、3月12日

会場 八王子市新産業開発交流センター、八王子市学園都市センター



## (3) 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）（協定締結年月：令和元年8月7日）

### 【連携協定の狙い】

地域の中堅・中小企業等の製品開発力強化や市場拡大、新規創業環境整備等によるイノベーション創出

### 【活動報告】

#### ◎技術連携交流会 @KISTECの共催 ※KISTEC施設見学を同時開催

開催日 令和元年11月22日 13:00～16:30

会場 神奈川県立産業技術総合研究所 海老名本部

参加企業数 大手企業4社、中小企業9社

面談数 14面談

#### ◎IoTワークショップ神奈川セミナーの共催

※経済産業省「地域中核企業ローカルイノベーション支援事業」

開催日 10月4日 10:00～17:30

会場 川崎市コンベンションセンター会議室 参加者数 21人

神奈川県企業のIoT導入ハンズオン支援 3社

#### ◎KISTEC Innovation Hub 2019（令和元年10月30日～11月1日、11月7日）の周知協力





# 情報ネットワーク事業

## I 会報「つなぐWa」

会員の取り組みや協会事業の紹介、関東経済産業局からの情報提供など、会員間の情報共有と役割立ち情報をまとめた会報です。

発行時期：原則奇数月 配布対象：会員



## II ホームページによる情報提供

協会会員の企業・大学・支援機関のホームページを横断的に検索可能なカスタム検索エンジン、協会が発行する冊子の電子ブック版などを掲載しています。

トップページ (<https://www.tamaweb.or.jp/>)



### 会員情報クロス検索

TAMA会員企業、大学のホームページに掲載されている製品情報、研究情報等をクロス検索可能。

### 電子ブック・資料

事業のあらまし、企業のコア製品・技術がひとめでわかる「製品・技術PRレポート」、大学のシーズや企業との連携希望内容をまとめた「大学技術工房」など、協会発行資料を電子ブックで掲載。スマホからも閲覧可能です（専用アプリダウンロード）。

## III 情報別メーリングリストの運用による効果的な情報提供

協会支援メニューや主催事業だけでなく、国・都県や支援機関等の補助金情報や支援施策・セミナー情報、官公庁などが発表する統計情報やニュース、また会員からの情報をタイムリーに発信しています。

※情報発信をご希望の場合は、事務局へご連絡ください。



# 交流会の開催

## I つなぐWaSession

会員間の交流と知識の習得を目的とした交流会を開催しました。

### (1) 第4回「海外ビジネス動向をみる」

開催日：令和元年9月26日（木）

会場：八王子市新産業開発・交流センター

内容：事例…(株)イノウエの海外展開 アメリカ・ヨーロッパ・  
ベトナム市場への展開  
(株)イノウエ 代表取締役社長 井上 毅氏  
リレープレゼン…海外の経営環境を様々な観点から見る  
(一社)アジア経営戦略研究所 (AIBS)



### (2) 第5回「つなぐWaSession×ASOBISYSTEM」

開催日：令和元年12月5日（木）

会場：KAWAII MONSTER CAFE HARAJUKU

内容：ファッション・音楽・ライフスタイルなどのコンテンツを国内・世界に向けて発信  
しているASOBISYSTEMと、ものづくり企業との異業種交流によるビジネス創出を  
目指した交流会を開催。

### (3) 第6回「新型コロナウイルス感染症による経済動向・中国」

開催日：令和2年3月27日（金）

開催方法：オンライン会議システムZoom

内容：中国拠点を持つ会員企業より、現地拠点・現地経済の状況等について情報提供、  
参加者と情報・意見交換を実施。

情報提供企業：綜研化学株式会社 代表取締役社長 逢坂 紀行氏  
株式会社コスモテック 代表取締役 高見澤 友伸氏  
株式会社イチカワ 専務取締役 市川 敦士氏

## II 新都心イブニングサロン

地域における企業・大学・支援機関・行政機関などが一堂に集い、中小企業の皆様の新技術・新製品開発や新分野への進出などにつながる新たな連携を生み出すための交流の場です。

### (1) 第40回南西フォーラム

「AIで変わる”未来”と実用化の“現在地” ～中小企業における人工知能の活用可能性～

開催日：平成30年8月28日（火）

会場：町田市文化交流センター

### (2) AIミニセミナー

「AIを活用した機械の故障検出システムの作り方 ～時系列信号を対象としたAIの開発・構築手法の事例～」

開催日：平成31年2月25日（月）

会場：さがみはら産業創造センター（SIC-2）

## II 南西フォーラム(首都圏南西地域産業活性化フォーラム)

地域における企業・大学・支援機関・行政機関などが一堂に集い、中小企業の皆様の新技術・新製品開発や新分野への進出などにつながる新たな連携を生み出すための交流の場です。

### (1) 第41回南西フォーラム

「“産”と“学”で紡ぐ中小企業イノベーション

～新技術・新製品を生み出す多様な産学連携事例～

開催日：令和元年9月10日（火）

会場：青山学院大学 相模原キャンパス

### (2) 第42回南西フォーラム

「オープンイノベーションの波に乗れ！～中小・ベンチャーの挑戦から学ぶ成功のセオリー～」

開催日：令和2年2月3日（月）

会場：町田市市民フォーラム

# TAMAコーディネータ

## I TAMAコーディネータ制度

当協会では、中小企業診断士、技術士、弁理士、公認会計士、税理士、社会保険労務士ほか、大手企業OBなど多様なスキルをもつ約120人の専門家を「TAMAコーディネータ」として登録しています。

TAMAコーディネータは、企業の課題解決や競争力向上のため、様々な個別支援を行うほか、協会のスタッフとして、事業プログラムの企画や進行管理、協会主催のセミナー講師など、会員へのサービス提供のため、事務局とともに幅広く活躍しています。

### (1) 活動分野・活動事業



#### <活動例>

- IoT導入ハンズオン支援
- シニア人材個別マッチング
- 共同研究プロジェクト等のプロジェクトマネージメント・コーディネーター
- 協会主催セミナー等の講師紹介
- 経営デザインシート作成支援
- 展示会マッチングサポート
- 会報への支援コラム寄稿

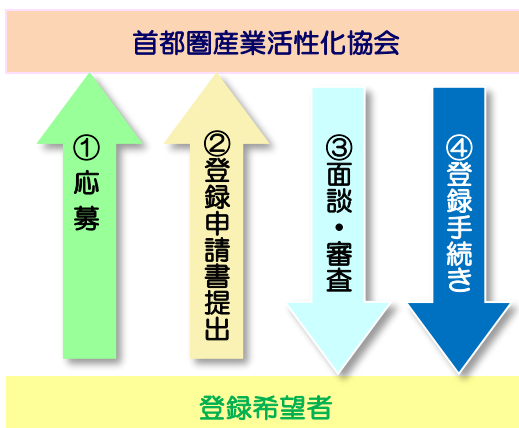
### (2) コーディネータ連絡会議

協会事業の理解、TAMAコーディネータ同士の交流を目的に、コーディネータ連絡会議を開催しました。コーディネータ連絡会議と合わせて、経営デザインシート活用に関するセミナーを開催しました。

開催日：令和元年7月12日（金） 会 場：国分寺労政会館

参加者数：30人

### TAMAコーディネータ登録の概略



### コーディネーター保有資格

資格
中小企業診断士
技術士
弁理士
公認会計士・税理士
ITコーディネータ
社労士、経営士、その他

# 地域との交流

## I 自治体地域産業政策勉強会

自治体が産業振興・企業支援を行うにあたり、地域中小企業の実態と行政や地域に求めるニーズを把握するため、施策や事例を学び、自治体間のネットワークを構築・強化する目的で埼玉県・東京都・神奈川県自治体産業振興担当者を対象に自治体地域産業政策勉強会を開催しました。

開催回	開催日	会場	参加自治体数
	内容		
第2回	令和元年5月24日（金）	（株）さがみはら産業創造センター（SIC1,2）	17
	相模原市の産業政策、ロボット関連施策、SICの支援活動について ロボットセンター見学&SIC内見学  協力：相模原市、株式会社さがみはら産業創造センター、関東経済産業局		
第3回	令和元年7月19日（金）	新都心ビジネス交流プラザ	11
	経営をデザインする ～ 経営デザインシートと知財のビジネス価値評価 ～ 講師：内閣府 知的財産戦略推進事務局  協力：相模原市・羽村市、関東経済産業局		
第4回	令和元年10月25日（金）	SKIPシティ内 産業技術総合センター	14
	川口市の産業支援施策について、川口市市産品フェア2019見学（市内企業の紹介）  協力：川口市、関東経済産業局		
第5回	令和2年2月13日（木）	綾瀬市保健福祉プラザ	16
	綾瀬市の産業振興施策について 綾瀬市企業訪問 斉藤樹脂工業(株)『綾瀬市との連携・イノベーション推進委員会』 地域産業振興を考えるデータ活用ディスカッション  協力：綾瀬市、関東経済産業局		



## II 自治体等との連携

首都圏西部地域をはじめ、全国の地域・団体、また海外クラスター団体等との連携事業や各種委員への就任・視察や講演依頼をお受けしています。今後も、国内外における産業支援機関との交流を図り、地域を超えた産業支援ネットワーク形成を目指してまいります。

### 1. 地域内事業

地域	事業名	事業内容
日野市	企業の魅力発信・連携促進業務	「工業みえる化推進事業」の一環として、市内中小企業及び大学研究室の特徴的な製品や技術力をレポートにまとめ、冊子やデータ等に整理することで、企業が自社の強みを再認識し、経営面での参考にするとともに、冊子やデータを活用し、市内中小企業及び大学研究室と大手企業のマッチング、また市内における産産連携及び産学連携を促進しました。
羽村市	羽村市連携構築・強化支援事業	羽村市内外の企業交流を図るために、技術にプライドを持つ企業家・大学教員がプレゼンを行い、プレゼンを聞いた意欲的な企業家達とのマッチングを目指した異業種交流会「はむらイブニングサロン」を実施しました。
狭山市	産学連携・特許情報活用アドバイザー業務	インキュベーション施設入居企業をはじめ、市内企業の産学連携、特許情報の活用に関する情報提供、効果的なアドバイスを実施するため、専門家を派遣しました。

## III 国内支援機関等との交流

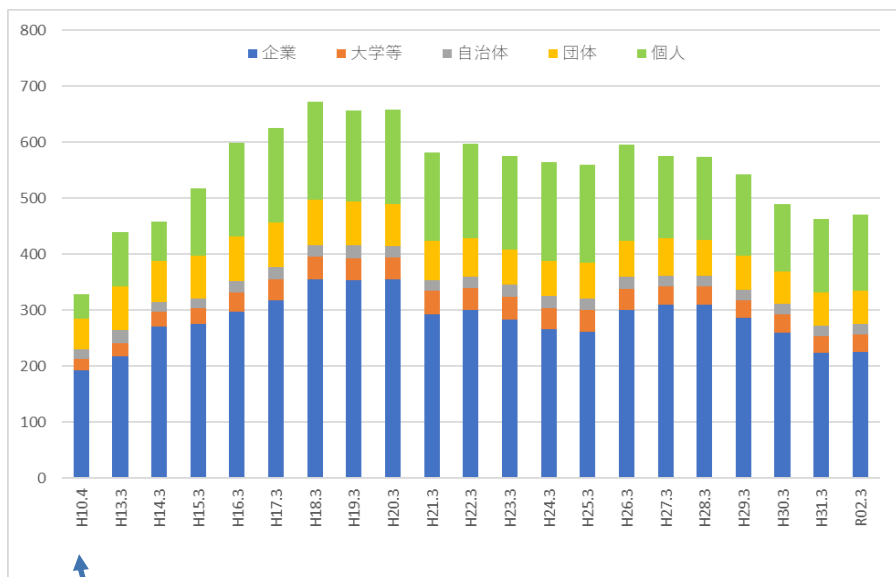
地域 ・ 団体	交流内容
一般社団法人日本自動車部品工業会	特別会員として参画
八王子商工会議所	一般会員として参画
一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）	賛助会員として参画
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム	三号会員（民間企業等）として参画
神奈川県	さがみロボット産業特区 重点支援プロジェクト支援委員会委員
八王子市	産業振興会議委員
羽村市	羽村産業振興懇談会オブザーバー
芝浦工業大学	COC事業外部評価委員会
狭山商工会議所IMT会議	狭山市中小企業経営支援相談員
公益社団法人八王子観光コンベンション協会	MICE委員会委員
TAMA-TLO会議	研究開発成果評価委員会委員
首都圏南西地域産業活性化フォーラム	首都圏南西地域産業活性化フォーラム運営委員会委員・ 企画部会委員
全国イノベーション推進機関ネットワーク	全国イノベーション推進機関ネットワーク運営委員
青梅線沿線地域産業クラスター協議会	青梅線沿線地域産業クラスター協議会オブザーバー



# データで見る会員の推移と現状

今年度は、総体として昨年度末より会員数は増加しました。企業会員数は昨年度の224社から社226社へ増加しています。今後も会員様への支援を尽力して参ります。引き続き、地域活性化、発展のため、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 1. 会員数の推移（平成10年度～令和元年度）

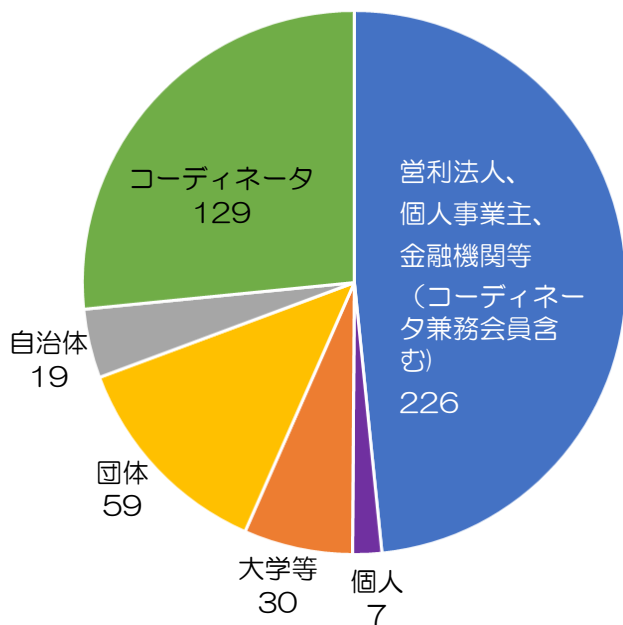


TAMA産業活性化協議会設立

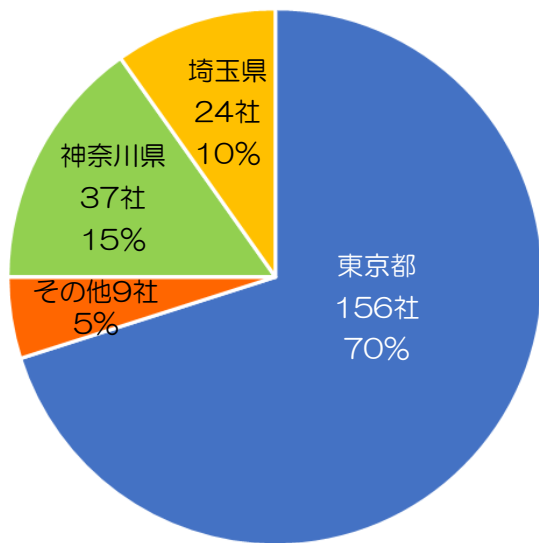
	会員数
平成10年4月	328
平成13年3月	440
平成14年3月	447
平成15年3月	517
平成16年3月	599
平成17年3月	629
平成18年3月	672
平成19年3月	656
平成20年3月	658
平成21年3月	578
平成22年3月	597
平成23年3月	576
平成24年3月	565
平成25年3月	560
平成26年3月	595
平成27年3月	576
平成28年3月	574
平成29年3月	543
平成30年3月	490
平成31年3月	463
令和2年3月	470

平成10年4月のTAMA産業活性化協議会設立時総会員数328（うち企業会員193社）でスタートし令和元年度末には総会員数470（うち企業会員226社）となっています。

## 2. 会員の構成（令和元年度末）

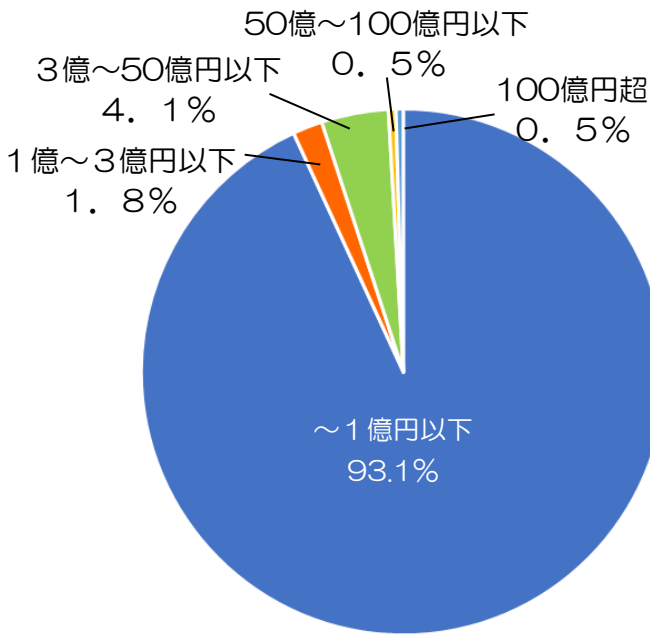


## 3. 都道府県別企業会員数



令和2年3月末現在（総数＝470）

#### 4. 資本金別企業会員分類

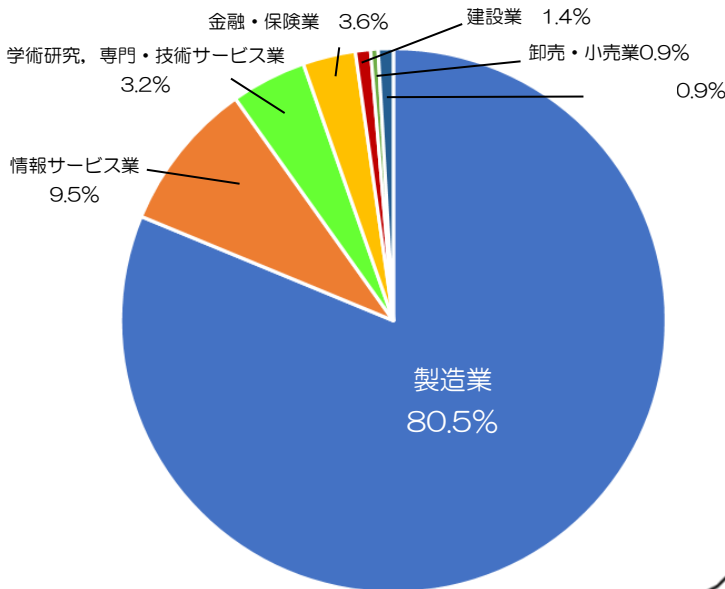


#### 5. 市区町村別企業会員数 (トップテン)

No.	市区町村別	会員数
1	八王子市	28
2	相模原市	22
3	青梅市	18
4	羽村市	13
5	立川市	9
5	昭島市	9
7	西多摩郡瑞穂町	8
8	千代田区	7
9	横浜市	6
10	所沢市	5

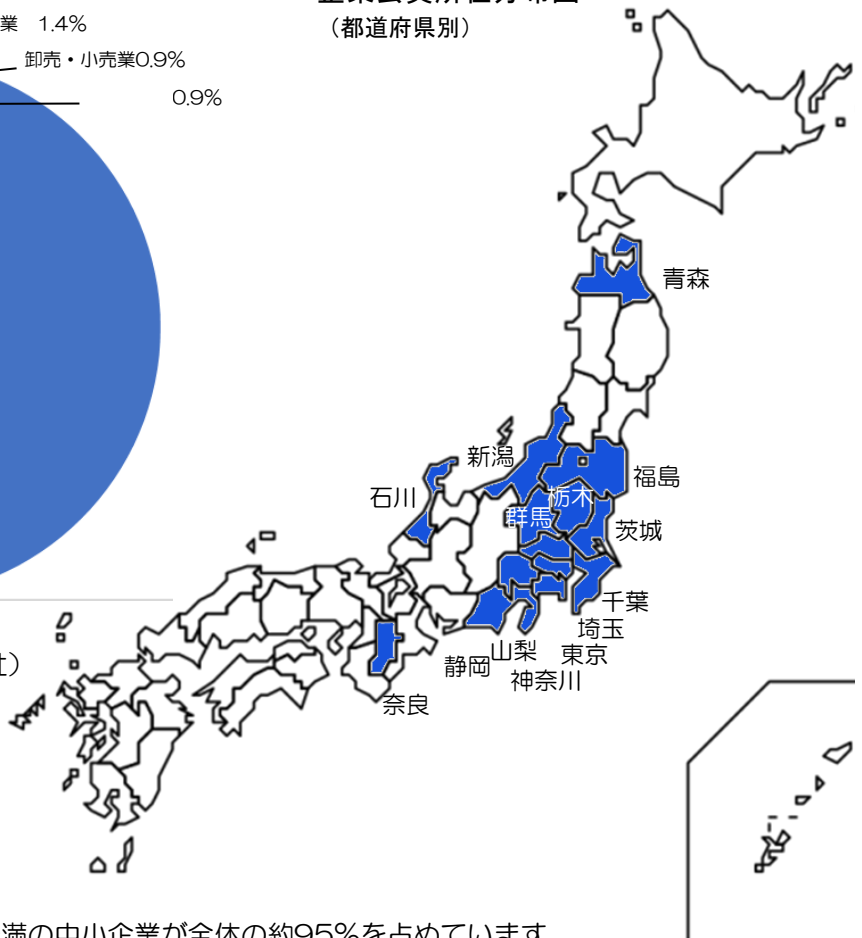
※上位10市区町村での企業会員合計  
125社 (企業会員全体の55%)

#### 6. 業種別企業会員分類



※日本標準産業分類にもとづく  
(令和元年度末 企業会員総数=226社)

企業会員所在分布図  
(都道府県別)



企業会員を見ると、資本金3億円未満の中小企業が全体の約95%を占めています。  
業種は製造業が全体の80.5%を占め、情報サービス業(IT)が9.5%、次いで専門技術サービス業が3.2%、金融・保険業が3.6%となっています。  
今後も、更なる充実したネットワーク構築を目指します。

◎ 年 表 ◎

	全体事業	イノベーション創出・付加価値向上支援	ものづくり現場の寄り添い支援	人材育成	ネットワーク強化
4月	22 経営資源プロジェクト委員会			3-5 合同新人研修 22 グローバル経営人材育成講座同窓会	24 青梅線沿線地域産業CL協議会
5月	17 経営資源プロジェクト委員会 24 理事会①	15 綿貫WG研究会(埼玉大) 28 医療イノベーションフォーラム分科会 31 鎌倉WG分科会・研究会(電通大)			23 はむらイブニングサロン⑧ 23 さがみロボット特区推進協議会 24 自治体政策勉強会② 25 会報「つなぐWa」第10号発行 29 青梅線沿線地域産業CL協議会
6月	14 中小機構連携協定調印式 14 通常総会(八王子)	19 綿貫WG研究会(埼玉大)	24 八王子市海外展開セミナー	26 人材確保・育成講座①	11 相模原市技術工業研究会 17 ダイバーシティ東京ブロック会議 20 はむらイブニングサロン⑨ 21 東京都産業振興連絡会議 28 青梅線沿線地域産業CL協議会
7月	12 コーディネーター連携会議 16 経営資源プロジェクト委員会	8 オープンイノベーション・チャレンジピッチ 12 知財事業セミナー(国分寺) 17 綿貫WG研究会(埼玉大) 19 知財事業セミナー(北与野) 25 久保田博南塾(八王子)	5 税制優遇説明会 24-26 メンテナンス・レジリエンスTOKYO2019	11 人材確保・育成講座②	18 はむらイブニングサロン⑩ 19 自治体勉強会③ 22 羽村市商工会工業部会 25 会報「つなぐWa」第11号発行
8月	7 KISTEC連携協定調印式(海老名)	22 医療イノベーションフォーラム分科会 23 鎌倉WG研究会(電通大) 29 知財事業セミナー(相模原)	26 IoTネットワーク会議① 28 IoTワークショップ東京セミナー		2 羽村地域産業振興懇談会
9月	26 つなぐWaセッション④(八王子)	13 知財事業セミナー(羽村)			10 南西フォーラム 13 はむらイブニングサロン⑪ 25 会報「つなぐWa」第12号発行
10月	4 第2回理事会(相模原)	7 鎌倉WG研究会(電通大)	4 IoTワークショップ神奈川セミナー 29 IoTワークショップ埼玉セミナー 30 IoTネットワーク会議②		2 イノベーションネットワーク事務局会議 3 ダイバーシティ推進会議 17 はむらイブニングサロン⑫ 23 南西フォーラム運営委員会 24 さがみロボット特区推進協議会 25 自治体勉強会④
11月		1 技術連携交流会 5 オープンイノベーションチャレンジピッチ 5-8 中国・武漢ミッション 14 BIZ SAITAMA2019出展 22 技術連携交流会(KISTEC) 28 新価値創造展2019出展		9 ねっ多摩フェス出展 20 データ活用講座(八王子)	7 ビジネスフェア 12 はむらイブニングサロン⑬ 25 会報「つなぐWa」第13号発行
12月	5 つなぐWaセッション⑤	5 久保田WG研究会(首都大) 23 医療イノベーションフォーラム分科会	18 IoTネットワーク会議③	11 データ活用講座(相模原) 13 技術経営大学生産管理講座① 19 技術経営大学生産管理講座②	
1月	31 理事会③・賀詞交歓会	14 鎌倉WG研究会分科会(電通大) 22 久保田WG研究会(首都大) 22 綿貫WG研究会(埼玉大) 29-30 彩の国ビジネスアリーナ出展	20 スモールジャイアンツワード2019-2020		22 青梅線沿線地域産業CL協議会 25 会報「つなぐWa」第14号発行 27 さがみロボット特区推進協議会
2月	26 経営資源プロジェクト委員会	5-7 テクニカルショウヨコハマ出展 7 技術連携交流会 20 たま工業交流展出展 21 OIチャレンジピッチ	13-14 京大阪視察ツアー	19 データ活用講座(狭山) 25 技術経営大学×サテライトゼミ 業務改善講座①	3 南西フォーラム 4 さがみロボット特区推進協議会 6 はむらイブニングサロン⑭ 13 自治体勉強会⑤ 20 金融機関勉強会
3月	19 理事会④(オンライン会議) 27 つなぐWaセッション(オンライン会議)⑥	知財事業事例発表会(協会HP・Youtube)	IoT事業最終事例発表会(協会HP)	11 技術経営大学×サテライトゼミ 業務改善講座② 12 技術経営大学×サテライトゼミ 業務改善講座③	25 会報「つなぐWa」第15号発行

# 沿革

## 第一期 1998年（平成10年）～2002年（平成14年）

### ネットワーク形成 インフラの整備を辻田産学官金ネットワークの構築

#### 1998年（平成10年）設立

4月 関東経済産業局の協力を得て、地域の企業、大学、自治体、商工団体により、任意団体「TAMA産業活性化協議会」が設立。

当初の事務所は、八王子商工会議所の一角を借用してのスタートであった。

#### 2000年（平成12年）事務所移転

事務所を三鷹産業プラザへ移転。

#### 2001年（平成13年）社団法人化、事務所移転

4月 TAMA産業活性化協議会解散。経済産業省の許可を受け、社団法人首都圏産業活性化協会を設立。事務所を八王子スクエアビルへ移転。

#### 2002年（平成14年）コーディネーター制度やネットワークによるプラットフォームを構築



## 第二期 2003年（平成15年）～2007年（平成19年）

### 研究開発・新事業創出

産学・産産連携の促進と連携による新技術・新製品の開発新事業の創出

#### 2003年（平成15年）ベンチャー基金設立

#### 2004年・2005年（平成16年・17年）海外クラスターとの交流開始

#### 2006年（平成18年）次世代経営者育成・若者ネットワークを構築

#### 2007年（平成19年）大手企業と中小企業の技術連携交流会開始

## 第三期 2008年（平成20年）～2012年（平成24年）

### 環境ものづくり 環境と調和し環境と共生する「ものづくりクラスター」として世界ブランド化をめざす

#### 2008年（平成20年）設立10周年、環境ものづくり支援事業・産学官金サミット開始

#### 2009年（平成21年）環境ものづくり大賞創設・海外展開支援の強化

#### 2010年（平成22年）一般社団法人化、首都圏西部地域広域基本計画策定

1都2県35市4町1村による広域協議会を設置し、地域での産業集積活性化を支援。

#### 2011年（平成23年）地域イノベーション戦略推進地域に選定

「首都圏西部SQOL(Smart Quality of Life)技術開発地域」として選定される。



## 第四期 2013年（平成25年）～2017年（平成29年）

### TAMAエコクラスター 環境配慮ものづくりエコクラスター（環境調和・ビジネス調和）の実現をめざす

#### 2013年（平成25年）TAMAブランド化推進事業、TAMAブランド企業認定開始

#### 2015年（平成27年）人材確保・定着事業強化、中核企業創出支援事業の推進

#### 2017年（平成29年）先端ものづくり・IoT普及による中核企業創出支援

## 第五期 2018年（平成30年）～2020年

### コネクテッド・インダストリーズ

産学官金で、ひと・もの・ことをつなぐを推進しビジネス機会と人材が集まる場を形成する

#### 2018年（平成30年）設立20周年、第五期中期計画策定・開始（4月～）異業種交流会、知的財産人材育成支援事業開始

#### 2019年（平成31年）連携協定等外部機関との連携強化、課題解決支援技術経営大学シリーズ化し開講

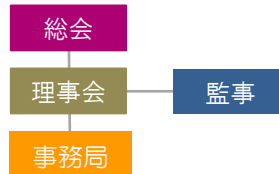


■ 役員 ※令和2年3月末現在

会長	特定非営利活動法人新都心イノベーションパートナーズ 代表理事、摂南大学経済学部 教授				野長瀬 裕二
副会長	株式会社リガルジョイント 代表取締役	稲場 純	株式会社industria 代表取締役社長	高橋 一彰	
理事	株式会社ソーケンメディカル 代表取締役社長	石渡 弘美	株式会社イチカワ 専務取締役	市川 敦士	
理事	株式会社イノウエ 代表取締役社長	井上 毅	東京農工大学 学長特任補佐	今井 寛	
理事	相模原市 環境経済局経済部長	岩本 晃	電気通信大学 特任教授 産学官連携センター長	小花 貞夫	
理事	アイフォーコム株式会社 代表取締役社長	加川 広志	有限会社久保井塗装工業所 代表取締役	窪井 要	
理事	第一合成株式会社 代表取締役	河野 良子	DATAビジネス株式会社 会長	昆 凡子	
理事	相模原商工会議所 会頭	杉岡 芳樹	立教大学 経営学部 教授	高岡 美佳	
理事	八王子商工会議所 名誉会頭	田邊 隆一郎	羽村市 市長	並木 心	
理事	八王子市 産業振興部長	廣瀬 勉	東京都中小企業振興公社 理事長	保坂 政彦	
理事	株式会社ミラック光学 代表取締役	村松 洋明			
監事	株式会社鬼塚硝子 代表取締役会長	鬼塚 好弘	株式会社コスモ計器 代表取締役	古瀬 智之	
参与	株式会社井口一世 代表取締役	井口 一世	武州工業株式会社 代表取締役	林 英夫	

■ 組織 ※令和2年3月末現在

- 理事：20人（会長1人・副会長2人）
- 監事：2人 ■ 参与：2人



■ 形態区分と入会金・年会費

会員種別	区分	資本金等	入会金	会費
正会員	営利法人等	100億円超	210,000 円	490,000 円
		50億円超100億円以下	150,000 円	350,000 円
		3億円超50億円以下	60,000 円	140,000 円
		1億円超3億円以下	45,000 円	105,000 円
		1億円以下	30,000 円	70,000 円
	個人事業主等	起業準備中の個人・創業5年以内の営利法人	15,000 円	35,000 円
	教育機関	教育機関・在日公館・通商機関	10,000 円	10,000 円
	個人	大学教官・学生・官公庁職員、コーディネータ	10,000 円	10,000 円
	商工団体	-	10,000 円	10,000 円
	金融機関	-	60,000 円	140,000 円
	公益法人等	社団法人・財団法人・特殊法人	10,000 円	10,000 円
	中小団体	-	10,000 円	20,000 円
	地方公共団体	製造品出荷額等5,000億円以上	15,000 円	30,000 円
製造品出荷額等5,000億円未満		10,000 円	10,000 円	
賛助会員	営利法人等	中小企業以外 ※中小企業基本法第二条の範囲外 ※その他大企業相当の企業も含む	---	100,000 円

■ ご入会お申込みは ホームページから可能です。

<https://www.tamaweb.or.jp/>

協会ホームページで「協会概要」  
中に入会のご案内をクリックしてく  
ださい！

